

可決 阿久比町後期高齢者医療に関する条例の制定について

反対

枘内美渡子議員

全国で4番目に高い。今後75歳以上の人口比率や医療給付が増えた場合等保険料が高くなる。年金が月15万円以上の人から天引きの徴収は生存権の侵害です。
国が決めたことでも自治体独自の対策は可能です。

可決 阿久比町国民健康保険条例の一部改正について

反対

枘内美渡子議員

国民健康保険条例第7条中の葬祭費を「6万円」を「5万円」に引き下げますが、広域連合で、保険料算定の議論の折、葬祭費は保険料に入れるべきではないとの意見がありました。保険料に組み入れられるから5万円が妥当となった経緯があります。

可決 平成19年度阿久比町一般会計補正予算(第5号)

反対

杉野 明議員

消防施設維持管理費の消防団詰所、消防車庫の地縁団体の無償使用を見直すべき。
私立高校等授業料補助金は予算を残すことなく支援すべきである。

可決 平成20年度阿久比町一般会計予算

反対

杉野 明議員

財政が厳しいと言って各種補助金を4年間で20%一律カットと各種免除団体の会場使用料を町民に押しつけ、一方では55周年記念と言って約1千万円の電光掲示板を設置は多くの町民の納得は得られない等。

賛成

稲葉 景久議員

町民税の伸びを見込めるものの、交付税などの大幅減額の緊縮財源の中、ほぼ前年並とした事は、苦しくても支出すべきは支出し、抑える所は抑えている。小学6年生まで通院医療費無料、子育て支援センター開設、小学生の海外派遣事業開始など評価します。新たな財源確保を要望し賛成します。

討 論

意見書

町民の声を
内閣総理大臣などに提出

可決

国民の食の安全性の確保と食料自給率の向上を求める意見書

提出者 鈴村 一夫議員

否決

介護職員の人材確保に関する意見書

提出者 杉野 明議員

賛成討論

枘内 美渡子議員

深刻な人材不足は劣悪な労働条件にある。月給は平均22万。労働も過酷。専門性を必要とする仕事でありながら報酬削減が行われ非正規職員が多くなっている。国は高齢人口増を見込み、2014年までに介護職員を40万〜60万人に増やす必要があるとしている。

否決

国民健康保険に係る国庫負担金の減額算定措置に関する意見書

賛成討論

杉野 明議員

提出者 枘内 美渡子議員

子どもの医療費助成などの現物給付を行っている市町村に対し国保の国庫補助金を減額する制裁措置をしている。これは政府が推進する少子化対策とも逆行する。